

上信越高原国立公園 (妙高・戸隠地域)

本公園は、群馬県、長野県、新潟県の3県にまたがる山と高原の国立公園で、面積は大雪山国立公園に次いでわが国で2番目の大きさであり、昭和24年に国立公園に指定されました。そのうち、長野県と新潟県にまたがる妙高・戸隠地域は昭和31年に同公園に編入され、今年で指定50周年になります。

1. 自然

妙高連峰は中央火口丘の妙高山を外輪山の赤倉山などが取り巻く二重式火山です。妙高山から火打山にかけての山腹にある高谷池湿原は、ハクサンコザクラで有名です。戸隠連峰は、海底火山の噴出物による堆積層が数百年前からの激しい隆起運動を繰り返して、急峻で男性的な岩壁を形成しており、古くから修験道の山とされてきました。雨飾山は日本百名山に名を連ねる双耳峰の山であり、ブナの巨木が見事です。そのほかにも、黒姫山、飯縄山など、妙高・戸隠地域には秀麗な山々があります。



紅葉の鏡池と戸隠連峰



シラネアオイ



百名山雨飾山

2. 利用

妙高・戸隠地域には多くの高原があり、年間を通して多くの人々が訪れます。春の妙高いもり池は、雪解けとともにミズバショウやエゾリュウキンカの花が咲き、訪れる人を楽しませます。夏は、入り組んだ形が芙蓉の葉に似ていることから別名芙蓉湖の名のある野尻湖では、カヌーなどが盛んです。秋の鏡池は眼下に迫る戸隠連峰の赤や黄色・緑色のコントラストが見事です。冬は豊富で良質な雪に恵まれ、妙高杉の原・赤倉・黒姫や飯縄・戸隠方面のスキー場での利用や、戸隠周辺などでのクロスカンリースキーが楽しめます。また、赤倉・燕・小谷温泉など温泉も楽しめます。このように、豊かな自然を利用して、妙高・戸隠地域では蕎麦や地酒、竹細工などの名産品が生まれ、この自然を愛してやまない地元の人達による自然観察会なども数多く行われています。

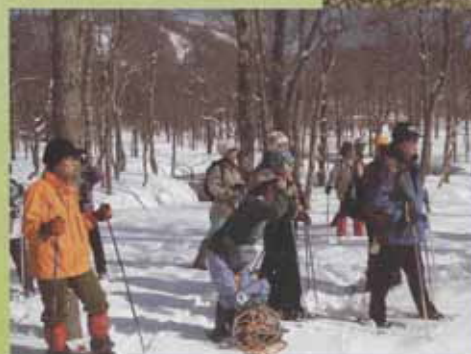
ツルマユリ



いもり池のミズバショウと妙高山



カワラの巨木



雪上自然観察会

野尻湖



(参考)

面積: 約4万ha 日本百名山: 妙高山・火打山・高妻山・雨飾山
関係市町村: 新潟県(妙高市・糸魚川市)、長野県(長野市・信濃町・飯綱町・小谷村)